

令和3年度 事業計画

1 基本方針

少子高齢化が急速に進展し生産年齢人口が減少するなか、経済活動を維持するためには、健康で働く意欲のある高齢者に就業機会を提供するシルバー人材センターの役割がより一層重要になっています。

一方、新型コロナウイルス感染拡大は未だ収束に向かっておらず、社会経済活動への打撃は大きく、当センターでも会員数や契約金額の減少など大きな影響が出ています。

このような状況下であっても、シルバー人材センターは事業を継続するため、高齢者への就業確保と地域の要望に応えるための会員確保は最重要課題です。

令和3年度は、第2次会員100万人達成計画に基づき、マスメディアの活用、入会説明会の工夫、女性会員の加入促進など様々な取り組みにより会員拡大に努めるとともに、コロナ禍のなか従来の手法にとらわれない新たな取り組みが必要となっています。また、専門委員会による広報活動にも制約があることから、会員自らが広報媒体となり会員獲得を行う必要があります。さらに、退会抑制のため福利厚生や会員特典の拡充にも努めます。

安全就業については「安全は全てに優先する」を原点に、事故ゼロを目指し、安全就業の徹底を図ります。また、コロナ禍における就業についても、感染予防対策を徹底し、職員及び会員の安全確保を行います。

今後とも、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を役職員及び会員が自覚し、より一層の会員拡大、就業機会の確保、及び社会参加の促進、安全就業を目指し、地域社会に密着した事業運営に取り組んで参ります。

2 事業計画

(1) 会員の拡大

会員の拡大は、安定的な事業運営の根幹であることから、会員自らが広報媒体となり入会勧誘を積極的に行う必要があります。

市広報や求人情報誌への会員募集広告の掲載、エフエムきららでのCM放送などマスメディアを活用し会員拡大を図ります。

また、宇部まつりや商業施設での街頭キャンペーン、出張入会説明会の開催、ホームページへの最新の求人情報の掲載などの取り組みにより、センターの認知度を高め、会員の拡大を図ります。

さらに、退会抑制を図ることも重要であるため、福利厚生として「会員のつどい」の充実や市民参加型の親睦旅行を実施します。また、会員特典の拡充にも取り組みます。

コロナ禍のなか、いろいろな制約がありますが、安全確保を行いながら取り組んで参ります。

(2) 就業先の開拓

事業の発展を図るためには、就業先の開拓が重要であることから、就業開拓委員会及び就業相談員はもとより、会員、役職員一人ひとりが就業開拓に努めます。特に、会員は、就業の場を活用し、自ら就業開拓に努めます。

(3) 組織体制の強化・充実

「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、連帯意識を基調に緊密な連絡体制と効果的な事業展開を図るため、各専門委員会は積極的かつ自主的・主体的な運営を推進し、職群班、地域班についても体制強化・充実を図ります。

(4) 安全・適正就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センター事業の原点であり、会員は「安全はすべてに優先する」を自覚し、傷害・損害事故の撲滅に努めます。

そのため、「安全就業基準」の遵守徹底など組織をあげて取り組むとともに、就業中の事故だけでなく、就業途上における交通事故防止や健康管理に留意するよう会員の意識高揚を図ります。また、安全パトロールを強化し、安全就業の指導を徹底し事故防止に努めるとともに、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ります。

適正就業については、「就業機会適正基準」の遵守により会員の就業機会の公平・適正化を図り、会員への就業機会を公平に提供するため、グループ就業やローテーション就業を行うなどワークシェアリングを積極的に進めます。また、未就業者への就業提供を積極的に行い、就業率の向上を図ります。

(5) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の理念や仕組みを幅広くアピールし、理解と支持を得るためには、日々のセンターの活動が最高の広報活動です。

会員は就業先や市民的行事など、あらゆる機会をとらえ、センター業務の紹介に努めます。

また、センターの認知度を高めるためマスメディアを活用し、普及啓発に努めます。

(6) 地域社会への貢献

シルバー人材センター事業は、地域社会を基盤とし、その理解と支援のもとに地域社会に密着した事業を展開しています。

各地域班が行うボランティア活動は、その地域に貢献する絶好の機会と捉え、会員の積極的な参加に努めます。

(7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

幅広い就業ニーズに対応するため、請負・委任業務では対応できない就業については、シルバー派遣事業を活用するなど法令や社会規範を守ることを徹底し、就業機会が失われることのないよう適切に対応します。